

ヒヤリハット及び介護事故報告について

サンリッチ伊東では、介護事故予防及び介護事故再発防止のために、各部署のスタッフからヒヤリとした介護内容及び介護事故につながってしまったことなどを迅速に報告させています。そして、これらの報告書を各スタッフが共有し、介護事故防止に役立てております。今回は、平成 30 年 10 月 1 日から令和元年 9 月 30 日の間において報告されたヒヤリハットの内容(11 件)及び介護事故の内容(17 件)の一部を開示させていただきます。なお、報告件数は合計 28 件ありました。

◆ヒヤリハット報告

[平成 30 年 10 月 26 日]

緊急コールにより訪室すると、トイレにぐったりと座り、冷や汗をかいていた。本人より排便後、気分が悪くなったとの説明がありました。

⇒ (改善)

トイレ使用時にはコールで介護職員を呼んでいただくようお願いしました。その結果、頻繁にコール依頼があり、その都度対応しています。

[平成 30 年 11 月 24 日]

職員が前室のドアを開けた時に、入居者様の左手指をドアと壁の間に挟んでしまいました。

⇒ (改善)

確認を怠らないよう指導しました。

[平成 31 年 1 月 2 日]

夜間巡視中、1 階居室前の廊下が焦げ臭いことに気づき訪室。煙が充満していたため換気を行う。レンジを使用したのが、加熱しすぎて煙が出ってしまったとの説明がありました。

⇒ (改善)

電子レンジの正しい使用方法について再度説明をさせていただきました。それ以降は問題なく使用されています。今後も継続して確認していくことにしました。

平成 31 年 3 月 29 日]

大浴場の浴槽から上がる際、利用者の方がバランスを崩されたため、介護職員が直ぐに身体を支えましたが、支えきれず床で右肘と腰を打たれてしまいました。

⇒ (改善)

身体の大い入居者様の場合、入浴時の介助は男性職員か、男性がいない場合には複数人で介助していくことにしました。

◇介護事故

[平成 30 年 10 月 22 日]

入居者様の居室に巡視のため訪室したところ、床に長座位になっていました。右目頭から鼻根の間に出血があり、傷が深いため受診して縫合処置の治療を受けました。車椅子も転倒していたので歩行時に車椅子につかまりバランスを崩したと思われます。

⇒ (改善)

ご家族様より居室天井から床まで「突っ張り棒」のようなものと設置したいとの申し出があり、業者さんに依頼して設置しました。その後は様子観察をしていくことにしました。

[平成 30 年 12 月 3 日]

同姓の方の薬を誤薬させてしまいました。

⇒ (改善)

同姓であったため、思い込みで服用させてしまいました。確認を怠ってしまったことが原因であり、必ず 2 人で確認するよう再指導しました。

[令和元年 7 月 10 日]

入浴介助中、入居者様を機械浴寝台に移乗する際、右肘がマットで擦れてしまい表皮剥離をしてしまいました。

⇒ (改善)

移乗するときには、両腕を胸の位置にする。皮膚が弱いことを常に注意して行うよう指導しました。

[令和元年 7 月 8 日]

夜間、緊急コールにより訪室する。トイレに行かれた際に転倒し、額をヘアピンで切ってしまったと説明がありました。翌朝受診しました。

⇒ (改善)

移動が不安な場合は、時間帯を気にせずコールで呼んでいただくようお願いしました。